



令和5年度

WWL（ワールド ワイド ラーニング）コンソーシアム構築支援事業  
～Snow Crystal Project in HOKKAIDO～  
カリキュラム開発拠点校 北海学園札幌高等学校

ニュース リポート 第1号 2023（令和5）年5月12日（金）

## WWL農業プログラムスタート

5月11日（木）放課後、事業拠点校の生徒25名が参加して、今年度のWWL事業の1つである、「学校の空き地で野菜栽培 住み続けられるまちづくり×農業×国際貢献」がスタートしました。

本事業の運営指導委員でおられます酪農学園大学 飛谷淳一准教授のご指導のもと、畑づくりに取り組みました。

昨年秋に落ち葉を敷き詰めて終えた畑をご覧になった飛谷先生からも、土の状態もよりよくなっていると褒めの言葉をいただきました。



生徒たちは、酪農学園大学オリジナルの堆肥と粃殻を畑にまいて、土と混ぜる作業におよそ1時間取り組みました。生徒も当初は慣れないスコップ、レーキ作業でしたが、徐々に慣れてきて、念入りに土と堆肥・粃殻の攪拌作業を行いました。

今後、野菜の苗を植えて、当番制で畑の管理作業と栽培に取り組みます。そして、収穫した野菜を販売し、収益金の一部を国際協力活動に充てることと構想しています。

学校と世界とを繋ぐというプロジェクトが始まりました。高校生活のよい思い出となるように、世界と繋がる自分にちょっとした達成感を抱けるように、そんな期待とともにスタートしました。翌12日（金）は、生徒たちが酪農学園大学に出向き、堆肥づくり、畑づくりを学ぶことになっています。

ご指導くださいました、飛谷先生、ありがとうございました。参加生徒の皆さん、楽しく取り組みましょう。